

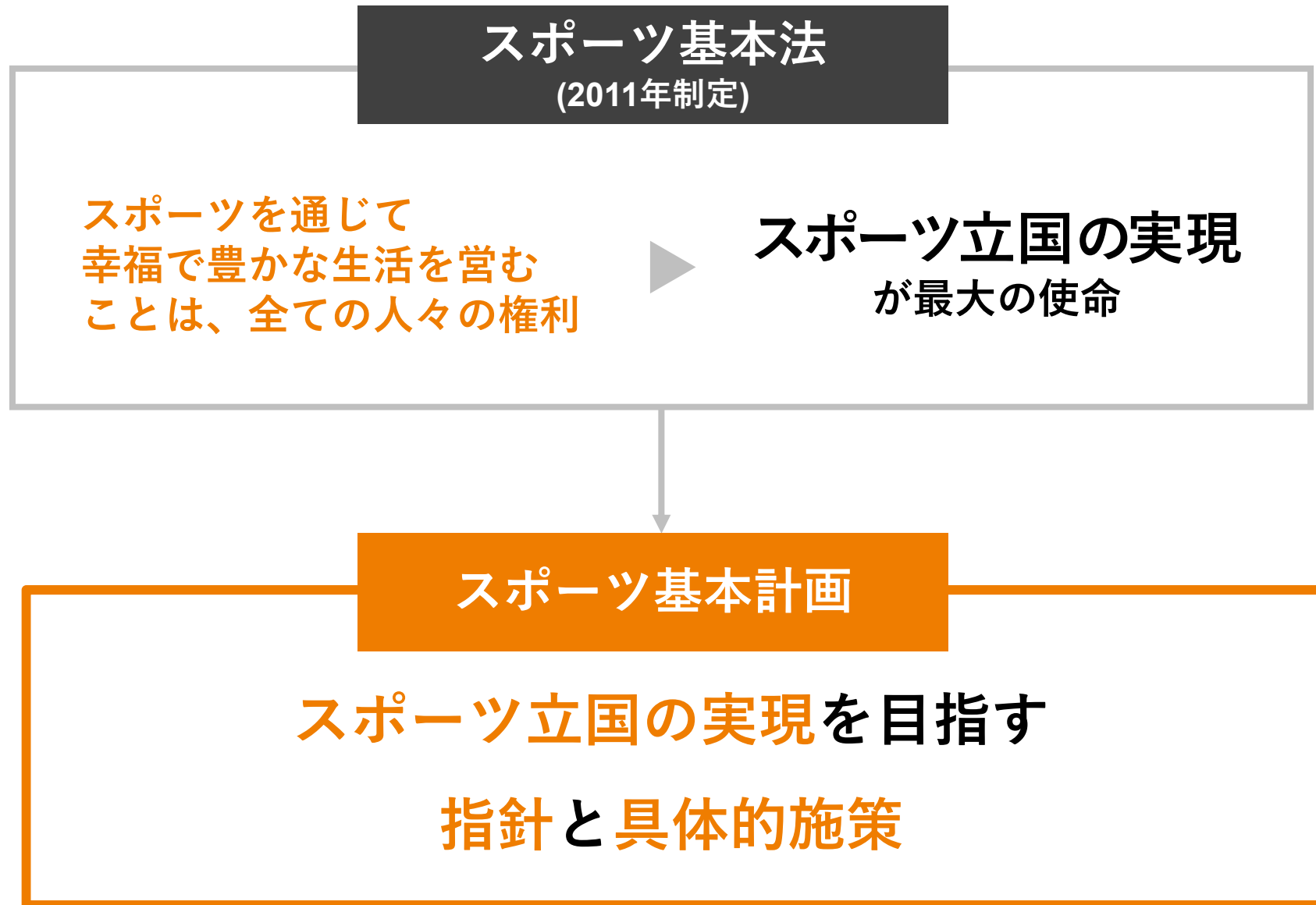


第2期スポーツ基本計画

～スポーツが変わる。未来を創る。～

2017年4月

スポーツ基本計画とは？



第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画 第2期: 2017年4月～2022年3月

2020年東京大会の先を含む
5年間の日本のスポーツの重要な指針



国民



スポーツ団体



民間事業者



地方公共団体



国

関係者が一体となって「スポーツ立国」実現を目指す

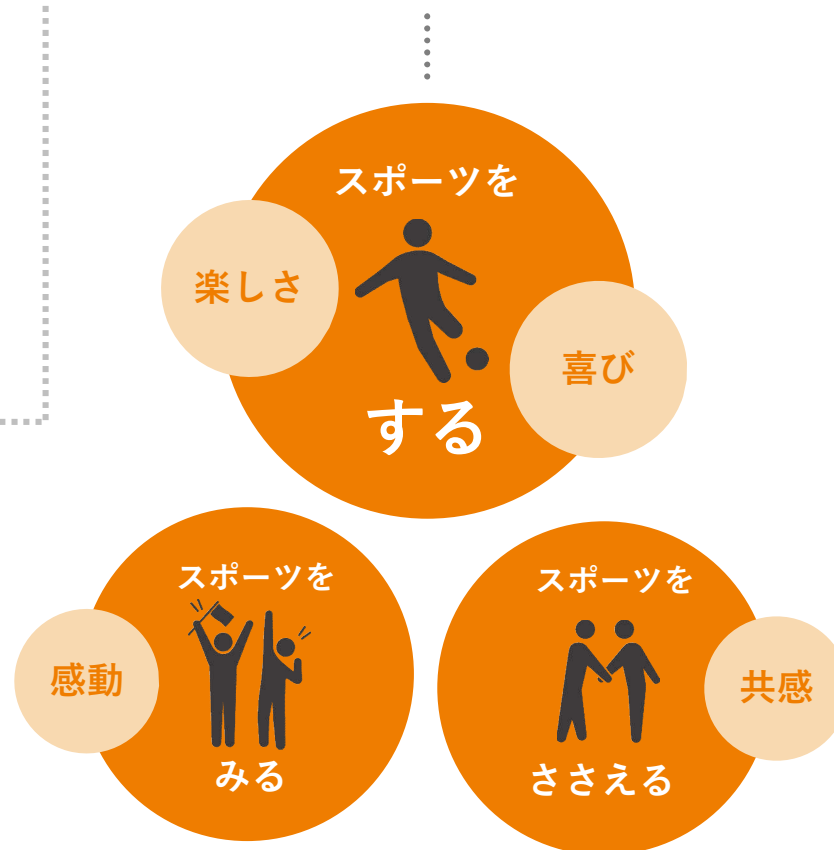
スポーツは「みんなのもの」

様々な形のスポーツ

- 1 競技として、
限界へ挑戦するもの
- 2 健康や仲間との交流など、
多様な目的で行うもの



参画のしかた



スポーツ参画人口の拡大を目指す

第2期スポーツ基本計画の骨子

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針

国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



「世界」
とつながる！



「未来」
を創る！

スポーツで「人生」が変わる！

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針

国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



「世界」
とつながる！



「未来」
を創る！

スポーツで「人生」が変わる！



体を動かすという人間の本源的な欲求に応える
(精神的充足)



スポーツで、**楽しく**健康で活力ある人生に。



心身の健康増進、生きがいに満ちた生き方
(健康寿命を伸ばす)

数値目標



成人の週1回以上のスポーツ実施率



42.5% ※ ▶ 65%

具体的な施策



- スポーツ「ガイドライン」の策定
- 新たなスタイルのスポーツの開発・普及
- 高齢者向け「スポーツプログラム」の策定
- スポーツ実施率調査の検証・改善

生涯心身ともに健康な生活を営む基盤づくり

数値目標



スポーツをしたい生徒  58.7% ※ ▶ 80%

スポーツが嫌いな生徒  16.4% ※ ▶ 8%

具体的な施策

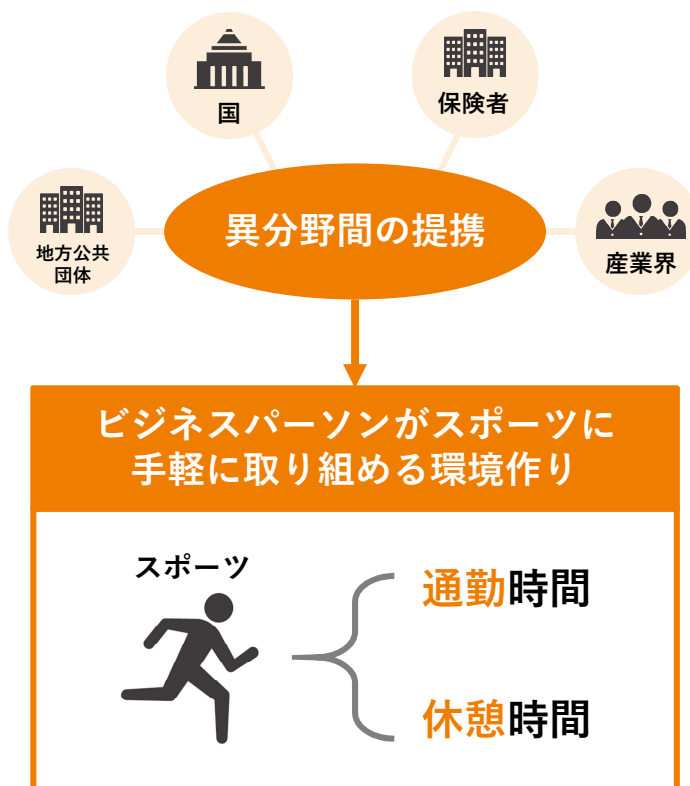


指導内容の改善

- 体育・保健体育の学習指導要領の改訂
- 小学校における体育の専科教員の導入
- 運動部活動の在り方に関する調査研究
- 部活動指導員を制度化
- 「幼児期運動指針」の幼稚園や保護者等への普及 等

生涯豊かなスポーツライフを実現する資質を育てる

ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり



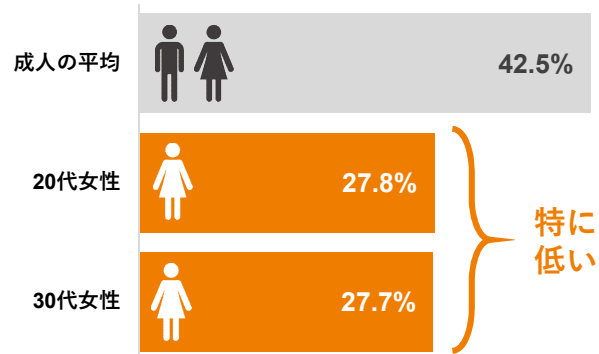
スポーツに関心がなかった人の意欲向上



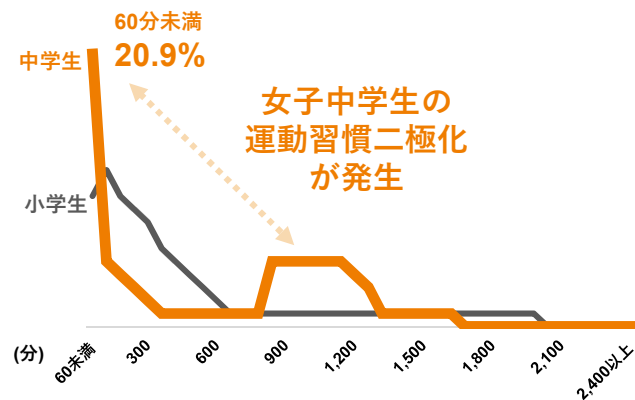
これまでスポーツに関わってこなかった人が親しめるスタイルを提案

女性の「する」「みる」「ささえる」現状の課題

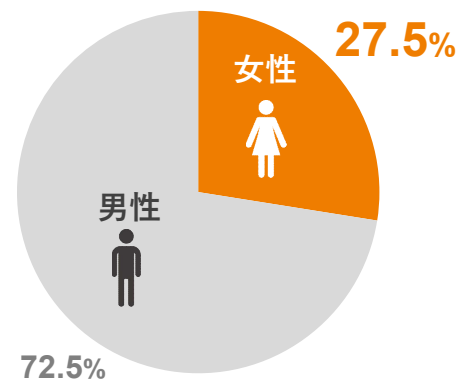
1 スポーツ実施率(週1回以上) ※1



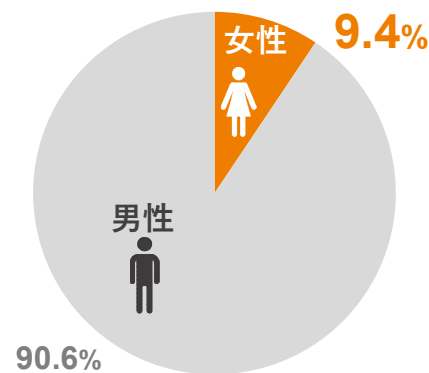
2 女子生徒の1週間の総運動時間 ※2



3 スポーツ指導者 ※3



4 スポーツ団体役員 ※4



女性活躍のための環境整備

女性スポーツに関する調査研究

先進事例の情報提供/
各国との共有

スポーツ施設の
利用しやすいの向上

ハラスメント
の防止

女性の指導者資格
取得の促進

スポーツ団体における
女性登用の促進

※1 出典：スポーツ庁「平成28年度スポーツの実施状況に関する世論調査」
※2 出典：スポーツ庁「平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

※3 出典：(公財)日本体育協会提供資料よりスポーツ庁作成

※4 出典：内閣府男女共同参画局 平成28年度 女性の政策・方針決定参画状況調べ 女性の政策・方針決定過程への参画状況の推移(総括表)よりスポーツ庁作成

スポーツで「人生」が変わる！



- スポーツ実施率の向上
- 新たなスタイルのスポーツの提案
- 子供のスポーツ機会の充実
- スポーツ参画人口の拡大
- アスリートのキャリア形成
- スポーツを支える人材の確保と育成
(スポーツ指導者の養成、専門スタッフ、審判員、スポーツボランティア等)
- 女性の活躍促進

スポーツで「社会」を変える！

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針

国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



「世界」
とつながる！



「未来」
を創る！

スポーツで「社会」を変える！



医療費抑制・働き方改革・地方創生
共生社会・健康長寿社会の実現・経済/地域の活性化



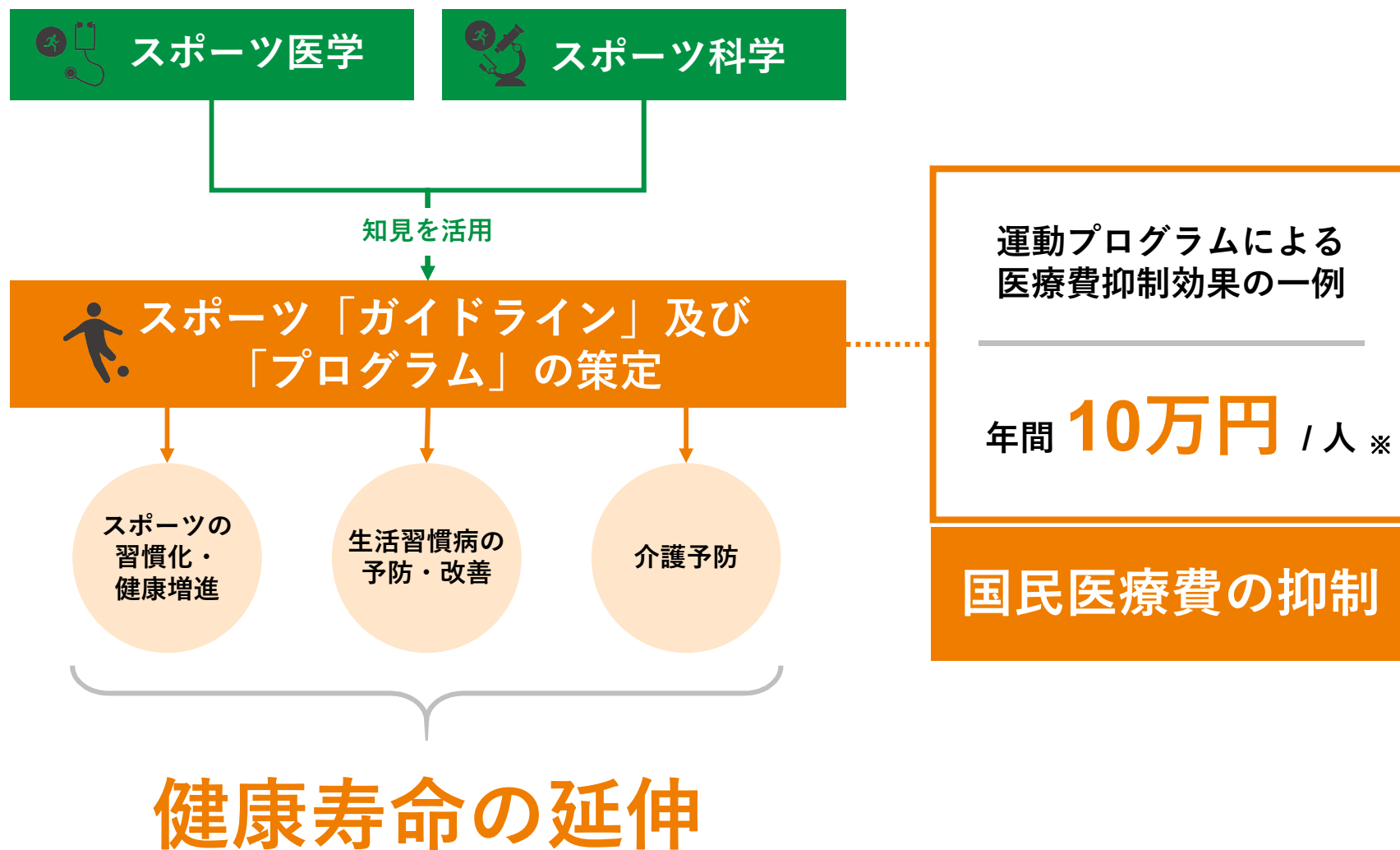
スポーツで、**社会の課題解決に貢献。**



人々が共感し繋がり、意識や行動が変わる
大きな力となって

健康寿命の延伸と国民医療費の抑制

スポーツで「社会」を変える！



※新潟県見附市における健康情報管理システムを活用したプログラムの実証実験の結果。運動プログラム開始後3年後のスポーツ実施者と非実施者を比較。

数値目標



PDCAサイクル等により
運営改善を図るクラブ

37.9%_※ ▶ **70%**

地域課題解決に向けた
取組を実施するクラブ

18.4%_※ ▶ **25%**

具体的な施策



総合型地域スポーツクラブ
(総合型クラブ)

= **地域スポーツの担い手**



これまで：量的拡大を重視

今後：質的充実を重視

全市区町村の **80%** で育成

- 財政的な**自立**
- 地域への**定着**

数値目標



障害者(成人)の週1回
以上のスポーツ実施率

19.2%_※ ▶ 40%

障害者(若年層)の週1回
以上のスポーツ実施率

31.5%_※ ▶ 50%

具体的な施策



組織・体制の整備

- 特別支援学校を地域の障害者スポーツの拠点に
- 学校における障害児のスポーツ環境を充実
- 障害者スポーツを総合的に振興する体制の整備
- 障害者スポーツ団体の組織体制の整備を支援
- 2020年に全国の特別支援学校で
スポーツ・文化・教育の全国的な祭典を開催等

数値目標



障害者スポーツの直接観戦経験者

4.7% ※ ▶ 20%

具体的な施策





数値目標

スポーツ市場規模

現状

5.5兆円

2025年目標

15兆円



具体的な施策

- スタジアム・アリーナ改革
- スポーツ経営人材の育成・活用
- 新たなスポーツビジネスの創出・拡大



数値目標



スポーツ目的の
訪日外国人数

138万人  250万人

※1

スポーツツーリズム
関連消費額

2,204億円  3,800億円

※2

具体的な施策



- スポーツツーリズムの推進
- 地域スポーツコミッションの拡大
- スポーツ×文化×観光の取組奨励
- スポーツによる地域の一体感の醸成
- スポーツ関連組織の収益モデルの調査と普及

※1 出典：（平成27年度），日本政府観光局公表の訪日外国人旅行者数に，「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）における「今回の日本滞在中にしたこと（複数回答）」のうち「ゴルフ」，「スキー・スノーボード」，「スポーツ観戦（相撲・サッカーなど）」の選択率を乗じて算出。

※2 出典：「旅行・観光動向調査」（観光庁）における旅行消費額のうち，観光・レクリエーション目的の旅行における「スポーツ施設」，「スキー場リフト代」，「スポーツ観戦・芸術鑑賞」に係る消費額を合計して算出。（平成27年度現在）

大学のスポーツ資源の活用 (学生・指導者・研究者・施設)

スポーツで「社会」を変える！

数値目標



日本版NCAAの設立に向け
スポーツアドミニストレーターを配する大学数

 **100** 大学

具体的な施策



スポーツ
アドミニストレーター 主導

大学におけるスポーツ分野を戦略的かつ
一体的に管理・統括する部局や人材

- スポーツによる大学活性化
- 大学のスポーツ資源の活用
- 質の高いスポーツ人材の育成
- 学生のスポーツ環境の整備

大学スポーツを地域・経済の活性化の起爆剤へ

スポーツで「社会」を変える！



- 学校施設やオープンスペースの有効活用
- スポーツを通じた健康増進
- 障害者のスポーツ実施率の向上
- スタジアム・アリーナ整備
- 障害者スポーツの観戦者増加
- 総合型地域スポーツクラブの質的充実
- スポーツの成長産業化
- スポーツを通じた地域活性化
- ビジネス手法の導入と収益性向上
- 大学スポーツの振興

スポーツで「世界」とつながる！

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針

国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



「世界」
とつながる！



「未来」を創る！

スポーツで「世界」とつながる！



多様性を尊重し、持続可能で逆境に強い、
クリーンでフェアな世界



スポーツで、世界の絆づくりに貢献。



スポーツを通じた国際交流が
国境を越え人々の絆を育む

数値目標



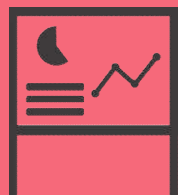
国際機関における役員数 

25人



35人

具体的な施策



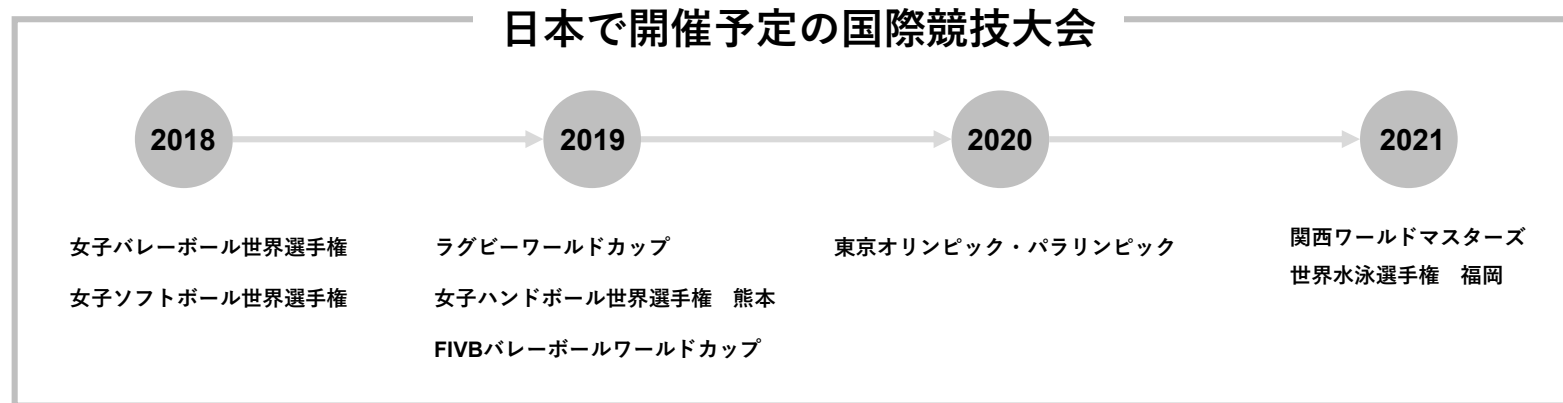
- 国際人材の発掘・育成
- ロビー活動支援
- 職員派遣・採用の増加等



国際スポーツ界の意思決定に参画

国際競技大会の招致

スポーツで「世界」とつながる！



積極的な招致／
開催の支援

国際競技大会・国際会議等の開催により

- 国際的地位の向上
- 地域スポーツ・経済の活性化

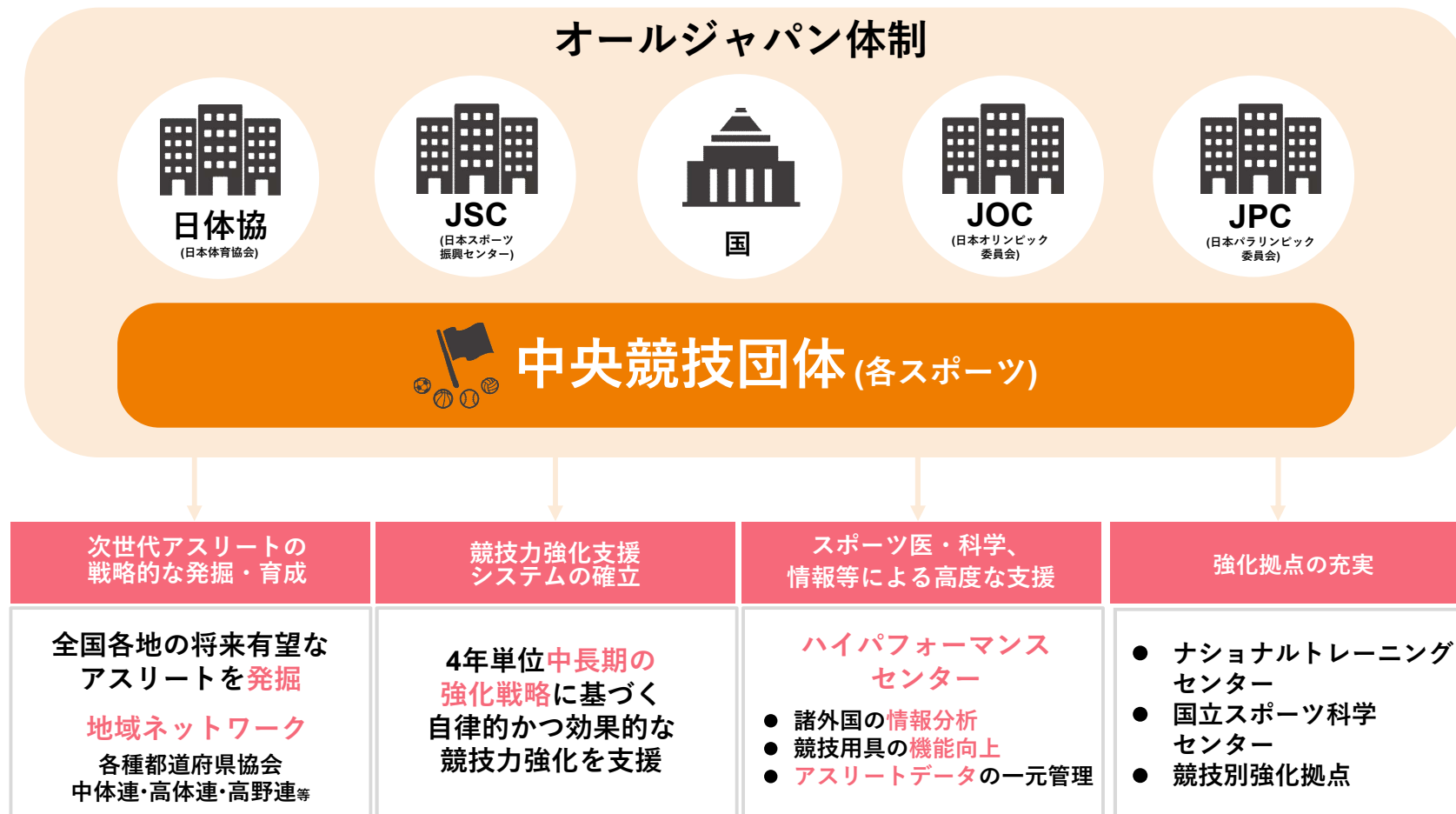
スポーツMICE

Meeting – 企業等の会議

Incentive Travel – 研修旅行等

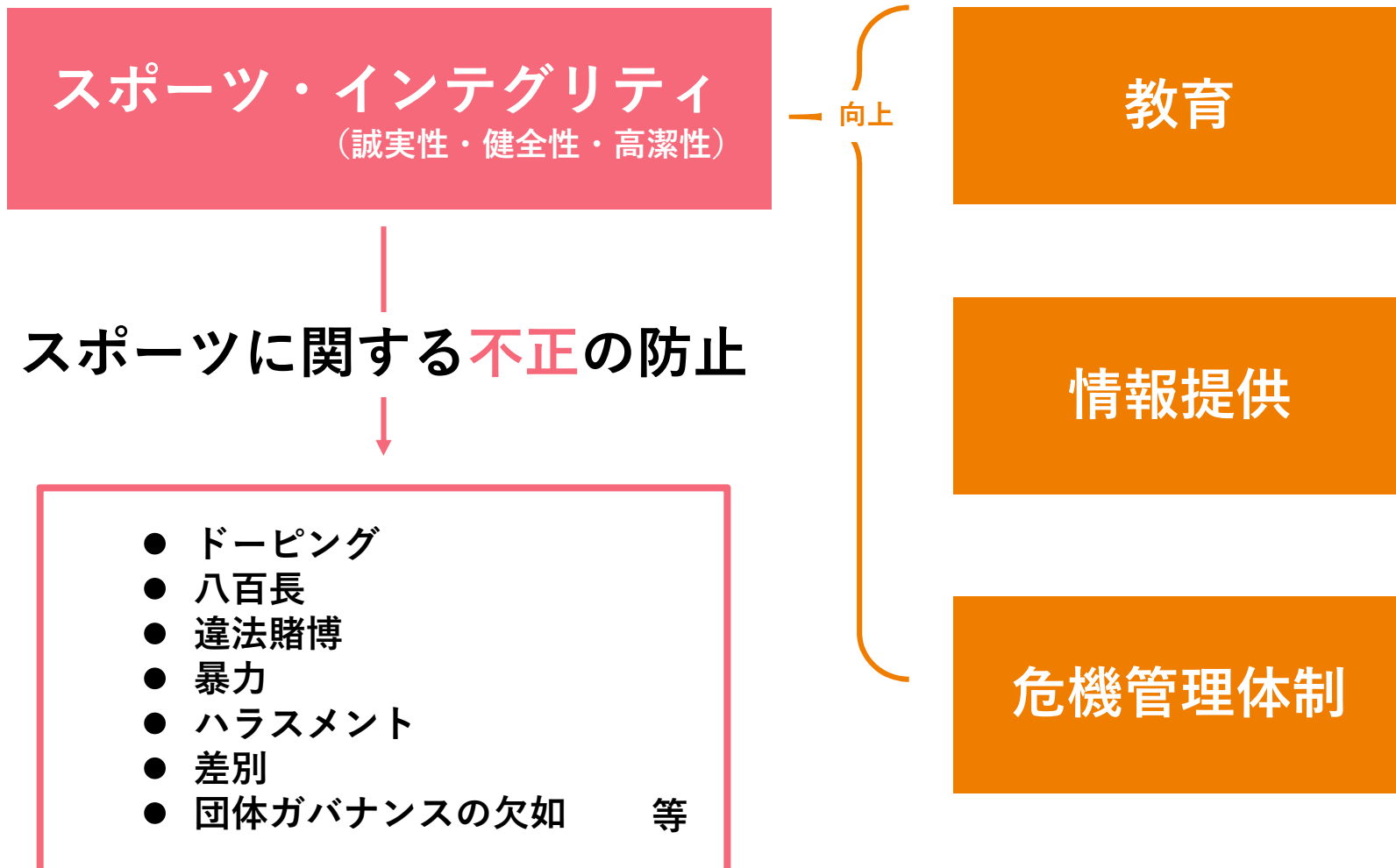
Convention – 国際機関等の国際会議

Exhibition, **E**vent – 国際競技大会



優れた成績を挙げる競技数の増加

JOC・JPCの設定した目標を踏まえつつ、**過去最高の金メダル数**など
優秀な成績を収めることができるよう支援



2020年東京大会に向けて、
官民協働体制・オールジャパンで推進



スポーツ・フォー・トゥモロー

目標：スポーツの価値を**100か国**以上**1,000万人**以上に広げる。

万人のため
のスポーツ

開発と平和の
ための
スポーツ

インテグリティ

スポーツで「世界」とつながる！



- スポーツ・フォー・トゥモローの促進
(スポーツを通じた国際協力・貢献)
- オリンピック・パラリンピック教育
- 国際競技大会の成功
- 新国立競技場の整備
- 国際競技大会の招致
- 国際機関役員の増加
- 国際競技力強化を支援するシステム
- 次世代アスリートの戦略的な発掘・育成
- ドーピング防止活動の推進
- スポーツ・インテグリティの向上

スポーツで「未来」を創る！

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針

国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



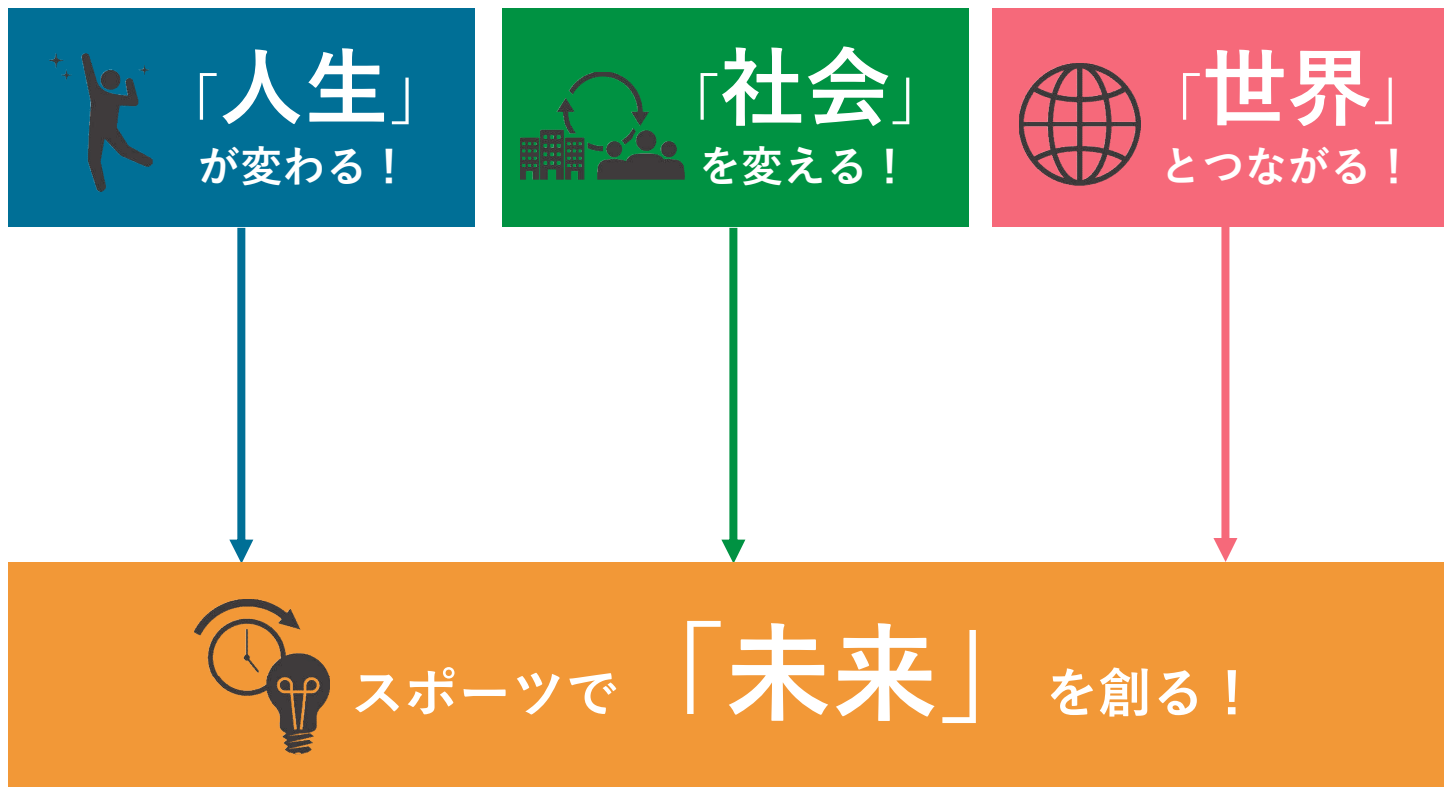
「世界」
とつながる！



「未来」を創る！

スポーツで「未来」を創る！

2020東京大会等 スポーツに関心が高まる絶好の機会





スポーツで「未来」を創る！



「一億総スポーツ社会」

自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、
前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創る。



これからの5年間で、スポーツの価値をさらに高め、
日本の未来にレガシー（遺産）を残す。

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports, Enjoy Life



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY